

高知県警と反射材付き高齢者交通事故防止チラシを作成

～高知県警交通部長に啓発チラシを贈呈し、街頭啓発活動を実施～

日本損害保険協会四国支部高知損保会（会長：海野雅敬・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、高知支店長）では、2022年高知県が人口10万人当たりの交通事故死者がワースト3位になったことから、高齢者の交通事故減少を目的として、高知県警と連携して反射材付き高齢者事故防止チラシを作成しました。

9月16日（土）に高知県警察本部にて反射材付き高齢者交通事故防止チラシの贈呈式を行い、海野高知損保会長から、高知県警察本部室津康博交通部長に対して、「高齢者の交通事故が減少するよう、多くの方に交通事故防止に有効とされる反射材を付けていただきたい」との挨拶のもと、反射材付き高齢者交通事故防止チラシ5000セットを贈呈いたしました。室津交通部長から、「高齢者交通事故防止のため、あらゆる機会を通じて活用したい」との謝辞がありました。

その後、JR高知駅で同チラシを用いた街頭啓発活動を実施しました。

当日は高知県で活動している高齢アイドル「爺-POP」も参加され、多くの方に反射材の活用が推進できました。

当支部では、引続き警察等と連携し、交通事故の低減に向けた取組みを推進して参ります。



贈呈式の様子：海野損保会長（左）と室津交通部長



高知駅にて反射材の取付けを推奨

＜高知県警と作成した高齢者交通事故防止チラシ＞

**高齢ドライバーは、
出会い頭の事故に
注意!**

「徐行」や「一時停止」でしっかり安全確認!

**高齢歩行者は、
夕暮れや夜間に注意!**

身を守るのは「安全確認」と「反射材」

高齢者(65歳以上)の歩行中死者の6割以上が夕暮れと夜間に交通事故に遭っています。
※出典:2022年中警庁統計より

一般社団法人日本損害保険協会四国支部 高知県警察

**爺-POPも明るい色の服
着いちゃうよ～**

早朝や夜間は、黒っぽい服装の歩行者は特に車の運転者からは見えません。そんな時に使っていただきたいのが反射材付きグッズです。反射材は車のライトに反射し、自分の存在をドライバーに少しでも早く知らせることができ、事故に遭う危険性を低くすることができます。反射材が付いた服、靴、鞆等は量販店等で購入することが出来ます。とにかく目立つことが大事ですから、ウォーキング等お出かけの際には明るい色の服を着たり、反射材の付いたグッズを身に付けましょう。

夜間、ドライバーから歩行者が見える距離※

黒っぽい服装	約 26m
明るい服装	約 38m
反射材着用	57m以上

高知ドライバーのみなさんへ
～まみむめもで事故防止～

- ま** 車が来ていれば、通り過ぎるまで「待つ」
- み** 横断する前によく「見て」、安全確認
- む** 「無理」な横断は、絶対やめる
- め** 外出は、明るい「目立つ」服装
- も** 道路中央で「もう一度」左側の確認

高知家

*チラシは以下の URL からチラシ(PDF) をダウンロードできます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/shikoku/2023/230929_chirashi.pdf